

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/10/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.43	0.05
JPY/THB	0.2258	-0.0018
USD/JPY	143.63	1.42
EUR/THB	36.09	-0.06
EUR/USD	1.1135	-0.0027
USD/CNH	7.007	0.026
SGD/THB	25.23	-0.06
AUD/THB	22.41	0.07
USD/INR	83.80	0.10
USD Index	100.78	0.40

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.233	-0.006
10Y (THB)	2.483	-0.013
5Y (USD)	3.559	0.053
10Y (USD)	3.781	0.030

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,636.1	-8.2
WTI (Oil)	68.17	-0.01
Copper	9,829.0	-153.5

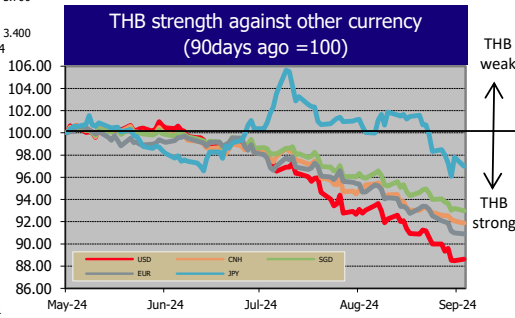
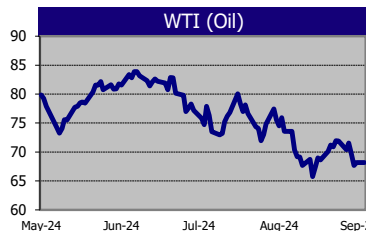
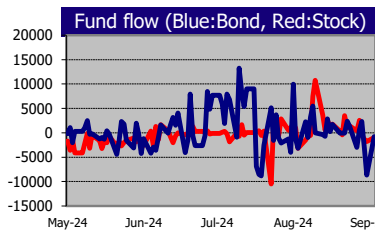
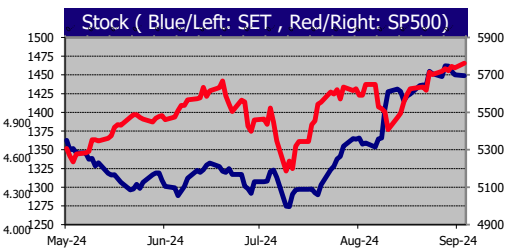
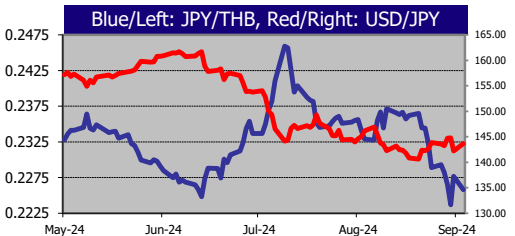
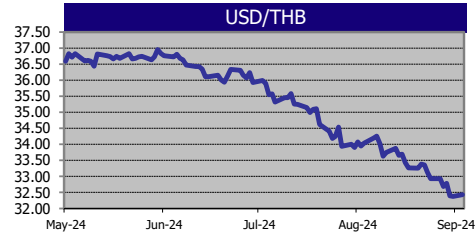
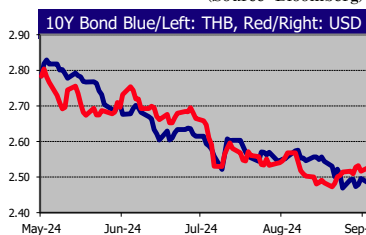
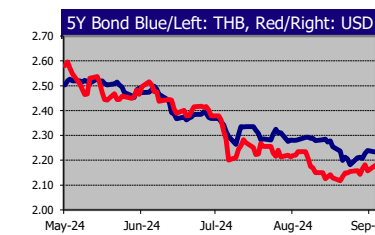
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,448.83	-1.32
NIKKEI (JP)	37,919.55	-1910.01
DOW (US)	42,330.15	17.15
S&P500 (US)	5,762.48	24.31
SHCOMP (CN)	3,336.50	248.97
DAX(GER)	19,324.93	-148.70

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(963)	841.7
Bond net flow	(776)	7861.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅上昇。32パーツ台前半でスタート。バンコク時間ではパーツ高のトレンドが継続し、午後には上下する場面を見せるも、総じてパーツ買いが優勢となった。しかし海外時間に入るとパーツが売られる展開となり、NY時間にパウエルFRB議長の「利下げは急がず」との発言が確認されると、一時32パーツ半ば付近まで上昇した。その後は小幅反落するも、終盤にかけて底堅く推移し、32.43レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。142円台前半でスタート。東京仲値にかけて月末のフローと思われる動きが入り、143円ちょうど手前まで上昇したが、その後は下落に転じた。自民党総裁選の影響が続き、日経平均株価が軟調に推移するのを横目に、東京引けにかけて円買いが優勢となり、一時141円台後半を付ける場面もあった。しかし海外時間に入ると、徐々に円が売られる展開となり、142円台後半の水準でNYオープン。パウエルFRB議長が改めて利下げを急がない姿勢を示すと、一時144円ちょうど手前まで上昇したが、その後は一服。終盤にかけて上値重く推移し、143.63レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

9月タイ債券市場は3ヶ月連続での買い越しとなり、株式市場は過去5ヶ月で初の買い越しとなっている。今後、米経済指標等の結果を受けて、米利下げ観測が強まっていけば、海外資金がさらに流入し、パーツ高が一段と進行する可能性が考えられる。また、中国人民銀行が打ち出した景気刺激策のパーツに与えるインパクトを引き続き見極めたい。輸出や観光業を押し下げるなどの悪影響が懸念され、足元のパーツ高進行を牽制するため、今週中にタイ政府と中銀の直接会談が予定されている。ピチャイ財務相は以前から中銀へ利下げ要請の姿勢を示しており、今回の会談でインフレ目標を再確認しつつ、改めて利下げの必要性を強調することが予想されている。一方で9月20日に中銀のセタブット総裁が「利下げは短期的には成長を支援するが、インフレとトレードオフの関係にあり、債務蓄積や投機といった脆弱性にもつながりかねない」と指摘したほか、中銀の独立性を改めて主張したため、パーツ高対策としてインフレ目標を変更し、利下げに動き出す可能性は低いと考えられる。これからパーツ高がより一層加速すれば、為替介入に警戒が必要と考えられる。(Li)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.